（様式第１－５号）

　市町村名：　箕面市

⑨その他の創意工夫による取組み

|  |  |
| --- | --- |
| 区分及び事業名  ※１から４のいずれか該当するもの一つに○を付し、（　　　）に事業名を記入してください。  ※１から４の複数の区分に該当するものについては、それぞれ用紙を分けて記入してください。 | １　人権相談分野（事業名：　　　　　　　　　）  ②　地域就労支援分野（事業名：就労準備支援事業）  ３　進路選択支援分野（事業名：　　　　　　　）  ４　生活上のさまざまな課題等の発見又は対応分野  （事業名：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 取組内容  ※府ホームページへは当様式に記載されている内容を原則そのまま掲載いたします。また、記載にあたりましては現状、現状における課題及び当該課題解決へ向けた取組み内容をできるだけ詳細に記入してください。  【新規・継続の別】　※該当する方に○を付してください。  　 １．新規  　②．継続 【交付対象となった年度：２８年度】  【 現 状 】  地域就労相談において、メンタルヘルスの課題があったり、社会に対する不安感からひきこもり状態になる人が増えており、就労に向けての自信や意欲を高めるためには、就労に関する体験を積むことが有効である場合が多かった。  【現状における課題】  長期離職状態の人やひきこもり状態の人は、様々な社会体験の場や人との交流の場での経験が乏しいため、ハローワークの同行や求人情報の提供などの支援だけでは就職につながりにくく、一般就労に向けたメニューの工夫が必要となっていた。  【取組み内容】 ※継続実施分について、取組み内容を拡充する場合は、その内容を追記してください。  相談者に対して体験型の就労支援メニューを提供した。  経済的、社会的自立を目指す人に対し、様々な社会体験や就労体験を積み重ねることで、就労への意欲や意識を高め、就労につなげることを目的とした。体験の場として、隣保館としての機能を積極的に活かし、市内近郊に、ボランティアなど様々な「場」を開拓していった。具体的には祭りの運営や、館内イベント、子ども向けイベント、近隣団体や企業と連携したイベントなどの広報物の準備や運営補助などを実施していった。また、市の職場体験事業を活用し、3～5日間の一般企業での就労体験も行った。  体験者に即したプログラムの提案や振り返りもあわせて行い、相談室では完結しない実際の就労へのステップアップを支援した。 | |